

TOYOTA MARINE

# Ocean Style

Feb 2015 Vol.4

THE NEW PONAM,  
NEW MARINE LIFE



Tomorrow is another ocean.

- 004  **AKIO TOYODA SPECIAL MESSAGE**  
トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 豊田 章男 氏
- 008 Message from **TOYOTA MARINE**
- 010  **PONAM-31 新艇報道発表会**  
2014.10.10 第一ホテル東京シーフォート／クリスタルヨットクラブ
- 014 *Winter Marine 2014.12.20 27*  
**ミッドランドスクエアにPONAM-31出現！**  
名古屋駅真ん前でひときわ目立ったその存在感に密着
- 018  **最新のポーナム31で行く、  
西伊豆ファミリークルーズトラベル**
- 022 **大解剖！ PONAM-31**
- 026 トヨタマリンスタッフに聞く**Vol.4**  
徹底的に何度も評価を繰り返す！ これがトヨタの強みと実感！  
久保 忠之 氏 & 中本 達也 氏
- 028 PONAM掲示板
- 030 クルザーコラム クルザーひとりごと 第2回「PONAM-31体験記」
- 031 Sail to Ocean ～試乗会情報～  
2015年5月17日 PONAM-31を体感しよう！「東京湾プレミアムクルージング」
- 032 【特別告知】 JAPAN INTERNATIONAL BOAT SHOW 2015
- 034 「結」号が伝えるカジキ釣りの醍醐味と復興への思い  
**Shiogama Billfish Tournament Story**
- 038 カジキ釣りの魅力  
【SPECIAL COLUMN】フィッシャーから絶大な評価を受ける 「ケンマツ」リール
- 042 PONAM体感東京湾クルーズ  
2014.10.26 at CRYSTAL YACHT CLUB
- 046 PONAMを`自分好み`に  
**カスタマイズのスズメ**
- 048 女性の、女性による、女性のためのクルーザースペシャル対談！  
**誕生、PONAM Women's Club**
- 050 Cruise service concierge 日本初、トヨタが保証する認定中古艇
- 052 MARINA DIVIDE ーマリーナ探訪ー Vol.5 和歌山マリーナ
- 054 Editor's VOICE

**AKIO TOYODA**  
**SPECIAL MESSAGE**

トヨタのポーターナムで  
新たなモビリティのドアを  
開けてみませんか



トヨタマリンを立ち上げてから約17年。  
これまでクルマ屋が考えるマリン、  
トヨタが考える`味、にこだわってきました。

そして、2014年10月10日。  
トヨタマリンの新しい船「PONAM-31」が誕生。

どれだけ操船を楽しめるか、  
どれだけ自分の思いのままに操れるか。  
海と楽しく語り合える船、  
海のFun to Driveを感じられる船、  
それがPONAM-31です。

さあ、その手を伸ばしてみてください。  
そこにはきっと、  
新たなモビリティの世界が、待っているはずです。



豊田 章男

Akio Toyoda

トヨタ自動車株式会社  
代表取締役社長





## 海のモビリティ発展のために

文 本誌編集長 増淵達也

昨年、豊田社長と試乗会やイベント、取材などで何度かお会いさせていただいた。当然ながら雲の上の、そのまた上の存在。未だに話しかけられると緊張を隠せないが、何度かお話を聞いているうちに豊田社長が繰り返しおっしゃっていることがあることに気が付いた。昨年のトヨタマリンのハイライトであるポーナム31の発表とともに、ここで振り返ってみたい。

### クルマ屋が考えるマリン

「トヨタという会社は、要するにモビリティの会社です。長年にわたって自動車です。陸上のモビリティについては多くの経験を積んできました。一方、モビリティの役割は複合的になってきており、その重要な要素の一つが海。海のモビリティの経験も積んでいかなばならない。これがトヨタマリンの原点です。」

陸や海をモビリティでシームレスにつなげていく。壮大な役割のイメージはさすが世界のトヨタだ。考え方のスケールが違う。しかし、もっとも重要なのは「自動車メーカーが考える海のモビリティ」、本人の言葉を借りれば、「クルマ屋が考えるマリン」に徹底的にこだわっている点だろう。

「我々の根っこの部分はクルマ屋ですから」。謙遜しながらも原点にブレがない発言にはいつも凄みを感じる。その「根っこ」の部分、「クルマ屋が考えるマリン」の大前提は「まず乗っていて楽しいことなんです。クルマだつて必需品からライフスタイルへの対応を求められて久しいわけで、海でもFast Driveを感じられるようにならないと。それがトヨタの味なんですから」。そんなFast Cruise、いわば海のライフスタイルマネジャーに近づいた新艇がポーナム31だ。

### ポーナム31 on Track!

「私の役割の一つはフィルター機能。こういう商品をトヨタのブランドをつけてお客様に提供する、その最終意思決定に責任を持つことで





PONAM-31のデッキで、真剣な表情でトヨタマリンスタッフと議論を交わす豊田社長と友山常務役員。

す。ポーンナム31については昨年の夏休み、伊勢志摩に泊まり込んで2日間にわたり試験艇を試乗しました。

「私自身が多くの時間をポーンナム31と共有し、「海の楽しさ」をお客様に提供できるかどうかを実際に体験しました。結論から言うと、ポーンナム31は自信を持ってお客様にお奨めすることができます。なんといっても私自身が「海の楽しさ」を肌で強く感じる事ができた。当日の海は少し荒れていましたが、クルマで言うところの波を、いなす、感覚もより強く感じました。海と対話できているような感覚ですね。クルマもわかりですが、どれだけ運転を楽しめるか、その私のこだわりにも強くアピールするポイントになっています」。

このようにポーンナム31を高く評価する豊田社長。何度もポーンナムに試乗させていただいた私も同意見だ。全体的なデザイン、室内空間の居住性を含めて、ライフスタイルボートの先駆者となることは間違いないのではないだろうか、と思う。私が「本当はこうだったらいいのにな」と思っていたことが、カイゼンされている。

### ポーンナム31 and Beyond

「日本はね、周りは全部海なのに、なかなか海のモビリティが発展してこなかったと思うんですね。でもそれって日本の強みは、様々な分野で協力し合って、きれいな海を世界に向けてプロモートしていかなきゃ。東京オリンピックはまさに一つのチャンスですよ。これほど東京湾をその前線基地として世界にアピールできるチャンスはもう二度とないんじゃないかな」。

海のモビリティ発展のためにはインフラの充実が急務だ。東京オリンピックに向けて、「国際居住都市ニッポン」に必要なのは、豊田社長が言う「陸と海のモビリティをシームレスにつなげること」だ。海外では当たり前となっている、近代的で人の集まるマリーナ開発も民間主導が始まることを願いたいものだ。

「そうしなきゃね、人はこないですよ」。

日本の海のモビリティ発展のために、やはりこの人がリードオファマンになりそうだ。



# Message from TOYOTA MARINE

---

昨年10月、3年ぶりの新艇、PONAM-31を発表致しました。  
社長の豊田も申していますように、PONAM-31はトヨタの「味、が感じられる  
いいクルーザーに仕上げることができたと思います。  
お蔭様で、お客様から大変ご好評を頂き、順調な立ち上がり状況です。

私は、マリン事業を担当して5年目になりますが、社長の豊田から  
トヨタらしいボートを造れと言われ、可能な限り、自らボートのステアリングを握り、  
海と語り合う機会を持つように心掛けて参りました。

クルージング、フィッシング、また、ボート好きの仲間達との語らいなどを通じて  
「トヨタらしいプレジャーボートとは何か」、  
開発メンバーと自問自答を繰り返して参りました。  
PONAM-31は、その集大成と言っても差し支えありません。

商品詳細については別の稿に譲りますが、操って楽しい走りとお求めやすい価格に拘った、  
トヨタらしいプレジャーボートが完成しました。

今回、『TOYOTA MARINE Ocean Style』第4号では、PONAM-31を特集し、  
冒頭で紹介した、社長の豊田による伊勢志摩での操船インプレッションの他、  
レーシングドライバー飯田章氏とご家族による、  
西伊豆クルージングなどを紹介致します。

また、トヨタ自動車東日本株式会社の白根社長にも登場頂き、  
PONAM-35を用いたトロリングの魅力について、語って頂きました。  
白根社長には私が営業してPONAM-35をご購入頂いたのですが、  
早速カジキを釣り上げられたようです。

これからもトヨタマリンは、  
お客様に海の喜びや感動をお届けするべく、  
「海のパッセージカー」づくりに取り組んで参ります。  
ご期待ください！

トヨタ自動車株式会社  
常務役員  
友山 茂樹





TOYOI MARINE

PONAM  
31



PONAM-31のデッキでの記念撮影。

2014.10.10

# PONAM-31

## 新艇報道発表会

Dai-ichi Hotel Tokyo Seafort  
Crystal Yacht Club

2014年10月10日、東京品川。  
クリスタルヨットクラブの桟橋には、今までにない新しいクルーザーが停泊していた。美しい流線形のフォルムが、太陽の光を反射させる。  
船体には「PONAM-31」の文字。  
波に揺れる姿は、東京湾を走りたくてうずうずしているようだ。  
さあ、繰り出そうではないか。  
PONAM史上最高のクルーザーによる、新しいマリンライフへ。



PONAM-31新艇報道発表会が行われた第一ホテル東京シーフォートの会場。多くのメディアが出席し、真剣に話に耳を傾けている。



# PONAM-31新艇報道発表会

2014.10.10 at Dai-ichi Hotel Tokyo Seafort / Crystal Yacht Club



東京湾を颯爽と走るPONAM-31。



発表会会場で挨拶をする友山常務役員。力強い一言一言から、PONAM-31に対する自負が感じられる。

## 高性能 高コストパフォーマンス 新艇「ポーターナム31」の衝撃

第一ホテル東京シーフォート。発表会会場を埋める、多くのメディアの顔。

トヨタのマリン事業の取り組みの考え方、トヨタマリンの強みなどが語られ、そして流れるポーターナム31

のプロモーションムービー。良質なドキュメンタリーのようなクオリティに見入ってしまった。

どれだけ凄い船なんだ、ポーターナム31は。そう思っていたら、更なる衝撃が。スクリーンに映し出されるポーターナム31の価格。

3000万円を切っている！その性能を考えれば普通はありえない。

これは間違いなくポーターナムシリーズをリードするクルーザーになるぞと、ワクワクせずにはいられない。

## 懇談会では、 豊田社長登場の サプライズ

クリスタルヨットクラブのレストラン。サプライズ登場した豊田社長に出席者は驚きの顔を隠せない。

驚きを残したまま、早速豊田社長を囲んで、ポーターナム31の話題に花が咲く。時にユーモアを交え、時に真剣に。

ポーターナム31への期待が膨らみきったところで、いよいよ試乗。さあ、その魅力を体感しよう！





豊田社長を囲んでの懇談会。列席者からはPONAM-31についての質問や意見が飛び交い、充実した時間が流れていた。



レインボーブリッジの脇を走るPONAM-31。



**そのクルージングはまさにマリンレース！**

ポーナム31のデッキで記念撮影を終えると、いよいよクルージングを始める。膨らんだ期待を更に超えていく走り。特にスピード感と安定性。大きな旋回は、本当にダイナミック！まるでマリンレースを楽しんでいるかのようだ。

操船も思い通りにできるようだし、窓が大きいからキャビンについても迫力が伝わる。

海のFun & Dive。まさにそれを体現するポーナム史上最高のクルーザー。ポーナム31はそう表現してもなお余りある、素晴らしいクルーザーだ。



旋回を始めるPONAM-31。安定しつつもダイナミックなクルージングが楽しめる。



高層ビルがそびえたつ名古屋の中心地、ミッドランドスクエアに突如姿を現した PONAM-31。  
冬空の下、青と白の光の波を立てて疾走するスタイリッシュなボートに、  
行き交う人々は立ち止まり驚いていた。  
点灯式の挨拶で友山常務役員が語っていたように、  
普段は海に行かないと見ることができないボートを、  
多くの人が美しいイルミネーションと共に身近に感じる事ができたはずだ。

Winter Marine 2014.12.20-27

# ミッドランドスクエアに PONAM-31出現！

名古屋駅真ん前でひととき目立ったその存在感に密着

取材・文 本誌編集長 増淵達也



# メリリーポーナムミククリスマス!

## Merry "Ponam" Christmas



笑顔でイベントを盛り上げてくれた4人のモデル。スタイリッシュなマリンファッションと共に、PONAM-31をさらに魅力的に見せていた。

### 光の波を走る 幻想的なポーナム31

昨年12月20日から27日まで開催されたポーナム31冬のイルミネーションイベント。ウィンターマリソン。

道行く人々も「あれは何?」「何やってるんですか?」「ボートってこんなに大きいのか?」「こりゃスゴい!」と、誰もが驚きの言葉を発して立ち止まる。

私自身も街のど真ん中でボートを見るのは初めてで、周辺のビルや高級ブランドショップの存在感と互角に張り合っポーナム31の勇姿をまざまざと見せつけられた。まさか、地上でもこれほどの存在感を出すことができるとは……。とても新鮮な気持ちだった。

特に家族連れの子供にモテモテ。トヨタのお膝元であることもさることながら、違った意味でポーナムの集客力を見せつけられた。

大人のためのマリンアイテムブランド。ムータマリンのファッションに身を包んだモデルが、行き交う人々に「メリリークリスマス」と手を振り、ポーナム31の魅力をさらにアピール。

点灯式の最中はあじくの大雨。しかし、それもまたポーナム31へのジェラシーにも思えるほど。

「普段は、海沿いのマリナーまで行かなければ目にする事ができないボートを、何とか、多くの皆様に見ていただきたい」と今回のイベントに込めた思いを熱く語る友山常務役員。集まったお客さんも熱心に耳を傾けていた。

そしていよいよ点灯のカウントダウン。「5・4・3・2・1」の掛け声に合わせて、たくさんのカラフルなペンライトの光が揺れ、「点灯!」の言葉と共に、約2万個のLEDで作られた波のイルミネーションが幻想的な世界を作り出す。

鮮やかな青と白のイルミネーションの波の中を疾走するポーナム31はもはや芸術。警備の方に聞くと「ここによると、特に深夜に記念写真を撮るカップルがとて多かったです。」

イルミネーションの波を切るPONAM-31。



ミッドランドスクエアの外看板。街路樹のイルミネーションが、PONAM-31を一層芸術的に見せていた。

点灯式でトヨタマリンの思いを伝える友山常務役員。雨の中、真剣に聞き入っていたお客さんの姿が印象的だった。





冬のイルミネーションイベント「ウインターマリン」の屋外PRパネル。広場を歩き交う多くのお客さんの目を引いていた。



ムータマリンのクッションなどが設えられた室内。窓の外に広がる都会の風景はユニークで、このイベントでしか味わえない楽しさだ。



PONAM-31の室内に入るとあって、多くのお客さんが列を作っていた。

### 多くのオーナーが実感した 海 Fun to Drive

「おかげさまでポーナム31の販売は非常に好調で、発売後2ヶ月で年間計画15隻に迫る11隻をご注文いただきました。これからは生産能力の増強を検討したいと考えています。

お客様に受け入れられているのは、やはり卓越した走行性能だと思っています。中には当初あまり関心を持っていなかったお客様が、試乗して走りの良さに驚かれて即決されたこともありますので、加えて見て楽しい、見せて嬉しい、デザイン

インも、評価をいただいている要因のひとつだと思います。

海 Fun to Driveを感じてもらいたいという私たちの思いを多くのお客様にお伝えできて、とても嬉しく思っています。

以前実施したレクサスオーナー向けの試乗会も大変満足いただけただので、今後もレクサスとポーナムの出会いの場を作っていきたいと考えています。

マスコミ取材に対する友山常務役員は、力強い言葉を聞いて、ポーナム31は間違いなく多くのオーナーに愛されることが確信できた取材だった。

マスコミの囲み取材の様子。記者たちの質問に真摯に対応する友山常務役員。



# 航 クルージング Cruising



富士山を背に、飯田氏が操船するPONAM-31で、駿河湾をクルージング。

最新のポーナム31で行く、

# 西伊豆 ファミリー クルーズトラベル

マリンアクティビティをよく知る  
レジャーガイドライター飯田氏が、  
家族と過ごすマリンライフをナビゲート！



PONAM-31のデッキで家族写真撮影。  
「今日是一日、思う存分家族で西伊豆のマリンライフを満喫します」と飯田氏。

## 綺麗な海と大迫力の断崖 駿河湾クルーズ

マリンライフといえば、まずはクルージング。

私がお勧めするのは西伊豆の海。スケールが大きくダイナミックな断崖近くをクルージングすると、冒険心がくすぐられます。

断崖も様々な表情を持つので、その移り変わりはクルージングをとて、最も刺激的なものにしてくれます。

また富士山や駿河湾に沈む夕日といった日本らしい景色を堪能できるのも西伊豆の魅力でもあります。

海を肌で感じたり、普段は見られない海から陸を眺めるといった経験が子供たちに提供できることは、将来大きな宝となっていくでしょう。

子供たちが生まれる前は年に30回ほどクルージングを楽しんでいました。全国津々浦々、いろいろな場所にいる仲間を訪ねて、更に仲間が増えていく。その広がりも醍醐味の一つですね。海の遊び方、特別なスポット、釣り等の話が盛り上がった。そういった楽しみ方のツールとしてポーナムはまさに最適なクルーザーだと思っています。クルージングの楽しみをステップアップしていくために、ポーナムをステップアップするのでもいいですね。

西伊豆  
マリンライフ  
体験ギフト  
としてもオススメ!

【飯田章氏プロフィール】

1989年7月9日、富士フレッシュマンレースに19歳でデビューし、初戦で3位を獲得。1992年にN1耐久レースへ参戦後、翌1993年に全日本ツーリングカー選手権(グループA)、1994年にル・マン24時間レースを経験し、それ以降国内のF3000(現SUPER FORMULA)、JTCC、JGTCで活躍。1996年には単独でヨーロッパに渡り、国際F3000へフル参戦。その後、2002年全日本参戦10年目にして、JGTCでチャンピオンを獲得。レクサス・LFA等の開発ドライバーの一人でもあり、2008年以降GAZOOレーシングからLFAでニュルブルクリンク24時間レースにも参戦、2010年にはクラス優勝を飾った。近年ではニュルブルクリンク24時間レースに参戦しているGAZOOレーシングチームの監督兼ドライバー、SUPER GT GT500クラスLEXUS TEAMの監督、D1クラムプリの審査員、マカオGP出場等のほか、PONAM-35sw、PONAM-31の外部アドバイザーとして開発に携わるなど、様々な活動を行なっている。

飯田章オフィシャルサイト：<http://akira.jp/>





海が綺麗な戸田では、デッキからも魚が泳ぐ様子を見ることができ、魚を見つけて「いた！」とはしゃぐ子供たち。



ね。  
 小さな魚でも、子供にとっては釣れるとやっぱり嬉しいもの。生き物と触れあう時間は貴重ですし、一緒に遊んで喜ぶ時間は貴重です。経験です。この日も小さいハゼの仲間などが釣れて、子供たちは大喜びでした。  
 子供が大きくなったら、御前崎から沼津のフィッシングスポットがオススメです。本格的な海釣りを楽しめます。



Navigation 2

# 釣

## フィッシング Fishing

**小さくても釣りに上げる喜びは同じ！**  
 西伊豆の海は透明度も高く、港などの陸からもはっきりと海底を見ることが出来ます。  
 中でも戸田港の入江は、ポーター31のデッキからも小さい魚が泳いでいる様子が楽しめます。子供とフィッシングに興じるには最適です



陸の上からもフィッシングが楽しめる戸田。見事に魚を釣り上げて、子供たちは大興奮。

**高足ガニを食べるなら「魚清」がオススメ！**

戸田の名物と言ったら、やっぱり高足ガニ。身がしっかり詰まっっていて肉厚なこのカニは味は言うまでもなく、ボリリュームもたっぷりです。ほかのカニより食べやすいので無言になることもありませぬ(笑)。足を食べ終えたらもう一度頭をゆでてミソを頂きます。

戸田ではいろいろなところで食べられますが、ぜひオススメしたいのが「さかなや魚清」。高足ガニが初めての方でも丁寧に対応してくれます。店の中央にある生け簀で、生きた高足ガニを見られるので、子供も興味津々で一緒に楽しめます。他にも赤エビの塩焼きが絶品。戸田に来たら、ぜひ一緒に！



戸田名物の「高足ガニ」のコース。魚清はカニの管理がしっかりしていて、特に味がいい。

Navigation 3

# 食

## さかなや魚清 Lunch

昼食は家族で高足ガニを堪能。西伊豆には何度も訪れているだけあって、飯田氏は高足ガニの食べ方にも手馴れている。



**【さかなや 魚清】**  
 住所: 〒410-3402 静岡県沼津市戸田580  
 TEL: 0558-94-2114  
 営業時間: 平日 11:00~17:00  
 土曜・祭日前日 11:00~20:00  
 定休日: 不定休  
 駐車場: 10台  
 Webサイト: www.sakanayauosei.com

# 泳

## 海あそび

### Swimming

穏やかな入江で  
泳ぐ、潜る、遊ぶ！

穏やかで静かな入り江は、海遊びをするのにもってこいですね。  
ポーナム31をできるだけ砂浜に近づけてアンカリングすれば、ラグジュアリーなプライベート空間とともに海を満喫できます。  
海に向かって思いっきり飛び込めるのも、クルーザーがあつてこそ  
の楽しみ方でしょう。



PONAM-31のデッキから思いっきりジャンプ！



穏やかな戸田の湾内。  
子供と一緒に安心して海遊びを満喫できる。

綺麗な海は安心して子供たちを遊ばせられるし、シュノーケリングで泳ぐ魚と一緒に見るのも、子供たちの好奇心を満たし、やがては貴重な思い出に。  
ポーナム31は、化粧室が広く設計されていて着替えも楽にできるのが嬉しいところです。



美しい自然に囲まれた戸田の海。

# 泊

## 海のほてるいさば

### Stay



海と夕陽を一望できる石造りの露天風呂付きの客室「三日月」。



鮮やかな色を放つ西伊豆の夕日。  
沈みゆく太陽を見ながら貸切露天風呂に浸ければ、1日の疲れも自然と取れる。

美しい夕日を見ながら  
貸切露天風呂で疲れを癒す

西伊豆の見どころのひとつが駿河湾に沈む美しい夕日。海を見下ろす高台にある「海のほてるいさば」は、そんな夕日を見ながらくつろぐのにオススメの宿。  
特に貸切露天風呂は眼下に広がる駿河湾、その水平線を橙に染めながら沈む夕日、富士山も望めます。  
夕食はアワビの踊り焼きや伊勢海老など、海辺の宿ならではの贅沢で新鮮な魚介を堪能できます。季節ごとに素材を変えているので、その違いを楽しみに訪れてみるのもいいですね。

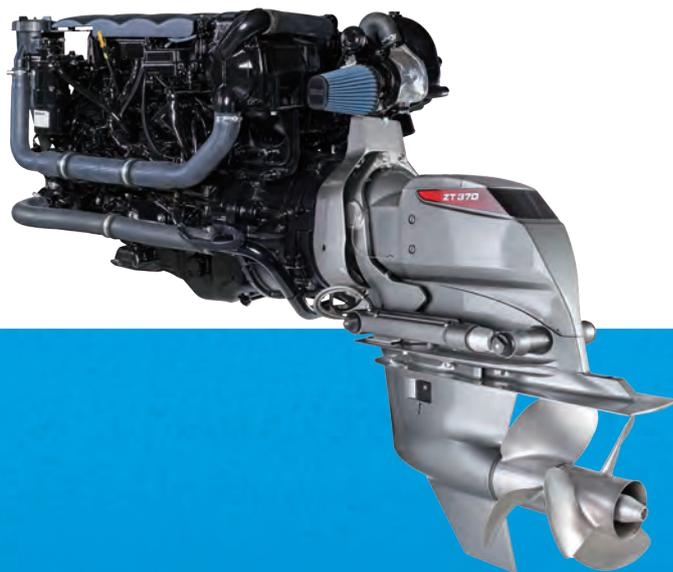


【海のほてるいさば】  
住所：〒410-3402  
静岡県沼津市戸田美浜海岸3878-20  
TEL:0558-94-3048  
駐車場：バス 10台 / 乗用車 50台  
Webサイト：www.isaba.co.jp



左／熟練の技により、強く美しく組み立てられたアルミハル。  
下／更なる改良が加えられたマリンエンジン。

高出力を実現しつつ、クリーン、低燃費、低振動、低騒音を達成。



# 大解剖！

# PONAM-31

**POINT 1** 圧倒的な走行性能を支える  
エンジンとアルミハル



## クラストップレベルの 最高速度

ポーナム31にはいくつも特徴があるが、真っ先にあげたいのが「圧倒的な走行性能」だ。

それを実現しているのが、更なる進化を遂げたエンジン。

クルマ好きならおそらく知らない人は少ない「ランドクルーザープラド（海外仕様）」のエンジンをマリナイズして搭載。ポーナム31では、クラストップレベルの最高速度を実現するために、エンジンの更なる出力向上に取り組んだ。

開発にも携わったレーシンググドライバーの飯田章氏も「エンジンの出来は期待以上。このクラスでは予想を上回るスピードが出る。しかし、ただ速いだけでなく、スロットルを倒したただけ思った通りに加速する」と太鼓判を押すほどだ。

ポーナム31のエンジンは高出力だけでなく、クリーン、低燃費、低振動、低騒音を達成。

クルマづくりに培った技術を、海で楽しむお客様にもお届けしたいというトヨタの思いが込められている。



## 快適な乗り心地を極めたい

マリナーライフを思う存分楽しむためには、安心感は欠かせない。中でもスピード感あふれるクルージングを楽しむなら尚のこと。それを支えているのがアルミハルだ。

ポーナムに使われているのは、航空機や新幹線にも採用されている「高強度アルミ合金」。

そして、この素材の良さを最大限に引き出しているのが、トヨタマリナーの開発・生産スタッフ。

「素材としてのアルミにこだわるだけでは、まだまだ十分ではありません。更に快適な乗り心地を目指し、そのアルミを使ってどのように作り、どんな構造にしていけるかもとこどもん追求していきます」という言葉通り、ポーナムの快適で安定性の高いクルージングは、トヨタの技術があつてこそ実現できる。

ポーナムなら、初めてのマリナーライフでも、安心して満喫できるように違いない。

## POINT 2

### カーデザイナーによる 流麗なエクステリア

#### デザインと機能の融合

立体的なフォルムと曲線美が特徴的なポーナム31。  
トヨタのカーデザイナーの先進的なノウハウを採り入れ、スタイルと機能性が見事に両立。

アフトデッキは曲線のデザインが特徴的で、十分な広さを確保し、高さのあるブルワークや座り心地のよいアフトデッキシートは、快適で安全にマリライフを楽しむように設計されている。

フロントのバウデッキも、広々としたフラットな形状にすることで、デッキワークやフィッシングがしやすくなるほか、くつろぎのスペースとしても利用できる。



# PONAM-31

## POINT 3

### 開放感と使いやすさを実現した インテリア

#### 広く快適な室内空間

ポーナム31のインテリアは、カジュアルなデザインながらも、落ち着いた雰囲気漂う。

室内高は最大195センチ。通路を一直線にすることで、奥まで見通せるようになり、空間が更に広々と感じられるだけでなく、移動もしやすくなったのは嬉しい。

もうひとつ、特に女性に好評の化粧室。こちらの室内高は最大で174センチあり、着替えをするのに十分なスペースが確保されている。



上/ゆったりと着替えもできる化粧室。  
左/明るく広々としたサロン。

る。  
他にも、大きな窓、人数やシーンにあわせて3つのタイプにアレンジできるソファアなど、至るところに工夫が凝らされている。

## POINT 4

※PONAM-31ではオプション。

### クルマの制御技術を応用した 操船支援システム



上/TDAのジョイスティック。  
右/TVASの操作パネル。



#### クルーザーもオートマに

今のクルマはほとんどがオートマ。しかし、クルーザーではクルマのような支援システムはまだ一般的になっていないのが現状。

そこで、いち早くそれに取り組んでいるのがトヨタだ。

海をもっと身近に、誰でも気軽にマリナライフを楽しめるようにとの思いから採り入れられたのがTDA（トヨタドライブアシスト）とTVAS（トヨタバーチャルアンカー

システム）。

TDAはジョイスティックの操作だけで、ポーナムを縦横斜め自由に動かすことができるシステム。難しいとされている離着岸も、これならより安全で簡単だ。

TVASはアンカーを打たなくても、ボタンひとつでポーナムの位置や方向を自動で保持するシステム。海上で花火を見たり、流し釣りをしたりするのに嬉しい機能だ。



#### PONAM-31 PRODUCT STORY

豊田社長やトヨタマリナスタッフが語る、PONAM-31 開発ストーリームービーもチェック！

## 大解剖！

## POINT 5 徹底した品質へのこだわり トヨタ式「カイゼン」



上/現地現物でアルミハルの改善報告に、真剣に耳を傾ける。  
右/見える化された問題の改善に対し、更なる改善のアイデアを出す。



#### 「カイゼン」を進化させた製造現場の視察

トヨタと言えば、「カイゼン」。

もちろん、ポーナム31にも、トヨタ式ものづくりのノウハウが随所に活かされている。

友山常務役員自らポーナム31の製造現場に足を運び、各製造工程から、部品や道具の管理に至るまで、隅々まで確認し、すぐさま更なる改善点を指摘している姿が印象的だ。

「品質を落とさず、知恵と工夫でコストを下げるのがトヨタ式」という言葉通り、ポーナム31は高い品質と驚きの価格を実現したクルーザーだ。

## ポーターの「安全」を 下支えする「評価」の仕事

「評価」という仕事と聞いても、あまりピンとこないオーナーもいるのでは？

しかし、普段そんなに目にすることがない仕事で、何気なく楽しんでいるマリンライフを下支えしているのだ。

早速、久保さん、中本さんのお二人にお話を伺ってみよう。

はじめに、ポリシーやこだわりを聞いてみた。

まず久保さん。

「自分が納得するまでとことんやる。これが私のモットーですね。評価の仕事はオーナー様が安心してマリンライフを楽しむために欠かせません。ですから、常にお客様目線で『これでいいのか？』と自問しながらポーターと向き合っています。」

では中本さんは？

「五感を高め、中でも音を感じるように心がけています。また、遊び方を知らないという評価はできませんし、実際に使ってみてわかることも多いので、遊ぶときはオーナーさんの使い方を意識して遊んでみることにしています。」

音ですか！なるほど。まさにプロフェッショナルだからこそ聴き分

## 久保 忠之

Tadayuki Kubo

トヨタ自動車株式会社  
新事業統括部 マリン事業室  
企画・開発グループ 主幹

## トヨタマリンスタッフに聞く！ Vol.4

# 徹底的に 何度も評価を 繰り返す！

## これがトヨタの 強みと実感！

船の評価には走る、曲がる、浮かぶを基本とする走行性能評価、機器が正常作動しているかどうか確認する機能評価、船全体としての品質評価の3本柱がある。

一見地味だが、これぞトヨタの強みと言える。今回は評価担当のお二人に話を聞いた。

取材・文 本誌編集長 増淵達也



技術部時代の久保さん(写真左)。真剣にクルマと向き合う表情は、ポーターと向き合っている今も変わらない。

けられる音があるのですね。

お二人からフィードバックされることは、同時に開発にも活かされる。現場第一のトヨタらしいスタンスを実感できる。

### 「評価」の視点から見る ポーター31のデビュー

デビューしたばかりのポーター31の場合、評価すべき項目は驚くほど多い。それらをひとつひとつ丹念におこなっていくのが評価の仕事。

言葉で言うのは簡単だが、実際に話を聞くとさらに驚かされる。

「さまざまな海域で走行安定性を評価するのはもちろんのこと、最高速

でどのくらい長時間走れるか、高波の日にとどのくらい走れるか、など。発表前の1か月くらいはポーナム31につきっきりでした」とお二人。

久保さんや中本さんが、さまざまなシチュエーションでポーナムを評価してくれているからこそ、安心してクルージングを楽しめるのだと思うと自然と頭が下がる。

## ポーナム31への思い

ポーナム31の話題も出たところで、お二人に最新艇への思い入れを伺ってみよう。

多くの時間をポーナム31と過ごしてきて、隅々まで知り尽くしたお二人は、どんな言葉で語ってくれるのか。

「ポーナム31は、走り、にこだわったクルーザーです。もちろん、これで満足せず、もっともっと改善を重ねて次のクルーザーに活かしていきたいと思いますが、ポーナム31は今までの知見をフルに結集した、ベストの船だと断言できますね」と、自信に満ちあふれる久保さん。

「3年振りの新艇であり、ポーナムシリーズの中核となる船ということ、いい緊張感を持って取り組みましたね。10年先のお客様にも喜んでいただける船にすること、本当で、難しい面もありましたが、本当



## 中本 達也

Tatsuya Nakamoto

トヨタ自動車株式会社  
新事業統括部 マリン事業室  
サービスグループ シニアエキスパート

にいい船に仕上がったと思っています！」

中本さん、私もそう思います！

それでは、最後にポーナムについてお客様にメッセージを。

では、久保さんから。

「トヨタの品質と信頼性を、ぜひポーナムで感じてみてください！」

中本さん、お願いします。

「多少波が高くても安心してマリナーライフを楽しんで帰ってこられる船。それがポーナムです。ぜひ発表したばかりのポーナム31に乗ってみてください！」

久保さん、中本さん、ありがとうございました！

「自分が納得するまでとことんやる。」

これが私のモットーです」（久保）

「遊び方を知らない」と評価はできませんし、

実際使ってみてわかることも多いんです」（中本）



普段からフィッシングを楽しんでいる中本さん。釣り上げた大物を両手に、満面の笑み。

トヨタ自動車のボートは安心感があるので、  
買い替えを検討しています。  
最大スピードの38ノットは、  
遠くまでクルージングしても余裕をもって帰れるため、  
燃費を考えると経済的です。

———— PONAM-28オーナー  
(男性・PONAM歴5年)

# 掲示板

PONAM  
OWNER'S  
VOICE  
TO PONAM-31

情 報 大 募 集 !

スタイリッシュな線形でかっこいいですね。  
価格がくすぐったいレベルです。

———— PONAM-28G II オーナー  
(男性・PONAM歴5年)

## What's PONAM 掲示板？

「PONAM 掲示板」は、PONAM オーナーの皆様からさまざまな情報をご提供いただき、他のオーナー様などへの情報発信や情報共有などを目的としたページです。「こんなオススメのスポットがありますよ」、「一緒にマリンライフを楽しみませんか」などマリンに関する情報の他、「こんな活動をしています」というオーナー様自身の情報まで幅広く募集しています。ぜひ情報をお寄せください！

お問い合わせ  
情報提供は  
編集部まで

[info@cruiser.jp](mailto:info@cruiser.jp)

波を乗り越える際に感じたけれど、  
女性でも慌てることなく操船できる。  
揺れが少なく安定した走行で、乗り心地が良い。

バーチャルアンカーシステムを使用して、  
海側からお祭り見物をしてみたい。

テクノロジーがボートを変える、  
それが PONAM-31!

——— PONAM-28 II オーナー  
(女性・PONAM歴1年)

# PONAM



お化粧室が広くなったのがとてもいい。  
スピードを上げて、安心して乗れるのは、  
さすが PONAM。

——— PONAM-28G II オーナー  
(女性・PONAM歴2年)

排気ガスの臭いで船酔いしていた家族も  
安心して誘えるので、  
これからは釣りばかりでなく  
クルージングも検討したい。

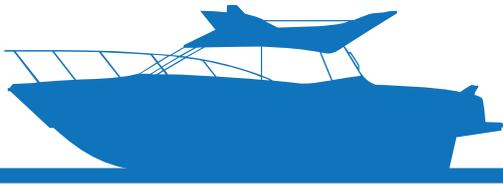
——— PONAM-28G II オーナー  
(男性・PONAM歴3年)

# クルーザー ひとりごと

本誌編集長  
増渕 達也

第2回

## 「PONAM-31体験記」



PONAM-31のハイセンスなフライブリッジで操船する姿は、とにかくカッコいい。

今号の特集でも取り上げているように、昨年10月10日にポーンナム31がデビューした。それから遡ること約2ヶ月、私は三重県の伊勢志摩にて試乗する機会に恵まれた。

3年前になるだろうか。クルーザーに関する調査をした際の意見として大勢を占めていたのは、日本には釣り船の延長線上の船しかない、というものだった。

ポーンナム28もポーンナム35も「そんなふうに見えるような船じゃないんだけどなあ」と内心感じていた私も、イタリアやフランスの船と比べると確かにデザイン性ではひけをとっているかもしれないな、と思っていた。

パッとみた感じがカッコよく見えることも商品としては重要な構成

要素のひとつで

あることに変わ

りはない。「そ

んな船が日本に

も登場してくれ

ればな」と期待

が高まっていた

矢先のことだっ

たのだ。

初めて眺め

たポーンナム31は

まさに理想型。

シンプルなカッ

コよさが全面に

出ていること

が、遠く離れた

桟橋からでも見

てとれた。



波を切りながら進む PONAM-31。海の青とのコントラストで、流線形のデザインが映える。

走りはどうか。これもまた爽快。印象としてはポーンナム28と比べて二段階くらいパワーアップしている感じを受ける。キャビン内も足を踏み入れた瞬間、広いと感じる。トヨタの代名詞とも言える「カイゼン」がお世辞抜きでそこかしこに感じられる。

クルーザーは絶対的な価格が高い。誰だつて知っていることだ。仕事柄、今までにお客様が絶対価格が高いものを購入されるシーンに何度も遭遇している。

ひとつ確かに言えることは、第一

印象で判断されることが多い、ということ。要するに、トヨタだから安心して乗れるという信頼性が高いのは大前提。これはギャランティでできる。ポーンナムに相対的に足りなかったもの、それは、ファーストインプレッションなんだ。

それを見事に実現したのがこの新艇「ポーンナム31」だと思つ。直感的に、「これはカッコいい！」と感じる人が多いはず。

PONAM-31を体感しよう！

# Tokyo Bay Premium Cruising

2015.5.17 (Sun)  
at Crystal Yacht Club

圧倒的なスピード。  
上質な乗り心地。  
先進的なデザイン。

PONAM史上最高のクルーザーに試乗できるチャンスです！  
PONAM-31のすべてを見て、触れて、体感してみてください！

## 参加者大募集！

参加のお申し込み・お問い合わせは下記 Web サイトまで

### CRUISER CONCIERGE

クルーザーコンシェルジュ

Search



名称：東京湾プレミアムクルージング  
主催：トヨタ自動車株式会社 新事業統括部 マリン事業室  
協力：株式会社ルート・アンド・パートナーズ  
開催日時：2015年5月17日(日) 10:00~14:00  
※天候不順等の場合は2015年5月24日(日)に順延  
会場：クリスタルヨットクラブ  
〒140-0002 東京都品川区東品川2-3-16 シーフォートスクエア1F  
募集人数：5組10名程度  
備考：応募者には詳細を個別にご連絡いたします。  
試乗艇は予告なく変更する場合があります。

# JAPAN BOAT SHOW INTERNATIONAL

2015年3月5～8日の4日間、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナで、「JAPAN INTERNATIONAL BOAT SHOW 2015」が開催される。

トヨタマリンもちろん出展。

注目は何と言っても最新艇「PONAM-31」。

会場で初めてご覧になる方もいるのではないだろうか。

実際の船を間近で見られるまたとないこのチャンス！

今すぐスケジュール帳にチェックを！

# 2015

2015.3.5-8



## 開催概要

- |      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 主催   | 一般社団法人 日本マリン事業協会                                           |
| 会期   | 2015年3月5日(木)～8日(日)の4日間                                     |
| 開場時間 | 10:00～17:00 ※3月5日(木)は11:30 一般開場<br>(パシフィコ横浜・横浜ベイサイドマリーナ共通) |
| 会場   | パシフィコ横浜(屋内展示)<br>横浜ベイサイドマリーナ(フローティング展示)                    |
| 入場料  | 一般 1,200円/高校生以上(中学生以下無料、2会場共通)                             |

# PONAM-31 出展!



最新艇PONAM-31

昨年の会場風景(写真上下)。  
2会場とも、多くの来場者でにぎわいをを見せていた。





「結」号が伝える  
カジキ釣りの醍醐味と復興への思い

# 結

## Shiogama Billfish Tournament Story



白根 武史

Takeshi Shirane

トヨタ自動車東日本株式会社  
取締役社長

チームワークで釣り上げた  
55キロのマカジキ

塩釜港を一齐に走り出す43隻のクルーザー。白根氏が乗るポーター35「結」号も、先頭グループでフィッシングエリアへと疾走。選りすぐったルアーを繋いだロッドが5本。トロリーリングに入り、ひたすらヒットのときを待つ。

「来た！」

スタッフの声が船内に響き渡る。リールからラインが走るようになっていく音が緊張感を生む。空気が一変し、スタッフ全員が慌ただしく動き出す。1番手のアングラーである白根氏がファイティングチェアに座り、渾身の力でリールを巻く。

最終的に3本ヒットし、釣り上げ

# チームワークが未来をつくる

*Teamwork makes the future*



カジキを釣り上げ、満面の笑顔を見せる白根氏(写真左から2番目)と「結」号のクルー。  
「次はもっと大物を狙うぞ」という意気込みが伝わってくる表情だ。



釣り上げたカジキを計量。いったい何kgなのか、ドキドキしているクルーの表情が想像できる。



魚群探知機に映し出される海中の状態。魚影の濃さが他の海よりも濃いのが東北の海の特徴だ。

「結」号のデッキに集まったクルー。これから始まるカジキ釣りへの意気込みが伝わってくる。

たのは55キロのマカジキ。カジキを釣り上げるには、チーム全員の連携が欠かせない。チーム「結」は船内での動きやロープワークがスムーズで、雰囲気もいい。まさに白根氏のリーダーシップのなせる業だ。

「カジキ釣りの醍醐味は何をおいてもチームワークですね。」

スキッパー、アングラー、リーダーマン、ギャフマン、チェアマン、それぞれが役割を果たさなければ釣り上げることができない、それがカジキなのだ。

2日間で参加全チームが上げたカジキはなんと78本！他の大会ではありえない釣果に驚くばかりだ。

**復興に繋がる仕事**

東日本大震災当時 トヨタ自動車の全社対策本部長だった白根氏は、被災地に行きたくても行けない日々が続いた。被災地に入れたのは3ヶ月後の6月中旬。

「車から降りて、360度見渡す限り何もない状況はテレビで見るとより衝撃的でした。」

2012年1月、関東自動車工業、セントラル自動車、トヨタ自動車東北の統合に向けて宮城に赴任した白根氏は、ある仕入先を訪問した際、奥様を震災で亡くされたという従業員が、日々悲しみに耐えながら





「結」のロゴを見せながら、カジキを釣り上げた喜びを表すクルー。その表情には、チーム一丸となって釣り上げた達成感があふれている。



東北の海の美しい夕日をバックにたたずむPONAM-35「結」号。クルーと同じく、カジキ釣りの激闘を終え、体を休めているようだ。

仕事に一生懸命取り組んでいる姿を見て、改めて働く場所があるありがたさを強く感じたそつだ。

同年7月に、3社を統合したトヨタ自動車東日本が誕生。

「新会社の社歌は、東北復興への強い思いにご賛同いただき、作曲は弾厚作こと加山雄三氏に、作詞を直木賞作家の熊谷達也氏にお引き受けいただきました」。

新会社では、車づくりで東北の経済基盤を強くし、そして復興の一端を担えればということが全社員の願いになっている。

### 復興への思い「結」

「復興を考えたとき、いつまでもふさぎ込んでいても仕方がないと思いました。東北の海や松島は本当に素晴らしい場所です。みんながそれを大切に思い、希望を持って復興に取り組んでいきたいと考えたことからポーンナム35の話が持ちあがったんです」。

2014年3月にポーンナム35を導入し、「結」という船名を付けた白根氏。古き良き日本の「互いを尊重し、苦しいときは助け合う相互扶助の精神」がその由来だ。社内報も同じ「結」という名前にしていることから、思い入れの強さが伝わってくる。

右/「絶対に釣り上げるぞ!」という気持ちで竿を引く白根氏。他のクルーも皆同じ気持ちで、それぞれの役割をこなしている。

左/美しい東北の海。今後も、「結」号に乗って感動を覚える人々が増えていくに違いない。



導入以降、10組以上のお客様を大衡村の工場見学とあわせて、松島クルージングに招待。東北の海的美しさを実感してもらっているという。新人社員や2013年に創立したトヨタ東日本学園の生徒にも同じように「結」号に乗ってもらっているそう。いかに白根氏が東北の海を愛し、復興への思いが強いかが伺える。「お客様が東北の人々や自然に触れ、素晴らしいと思ってもらえることから始まるものもあります。東北の良さに触れた方々が東北に生産拠点を造ろうとなれば、そこに雇用が生まれ、人々の生活が安定し、復興への大きな貢献につながります。「結」号はそんな大きな役割を担っているのです」。

こんなことができるのも、アルミハルの採用により、快適な乗り心地を実現したポーンナムだからこそ。まだ始まったばかりというチーム「結」だが、その志は高く、今後復興とシンクロするように一歩一歩前進していくはずだ。

沖縄を中心にトロリングを楽しむ  
PONAM-35オーナーが語る

# カジキ釣りの魅力



福岡 慎二

Shinji Fukuoka

株式会社ハーティウオンツ  
代表取締役会長

「これからカジキ釣りを始めるなら、  
チームとしての安全対策のルール作りが重要です」



沖縄を中心にカジキ釣りに親しんでいる福岡さん。

2013年6月に行われた「インターナショナルビルフィッシュトーナメント・サムズカップ沖縄」では135kgのファーストマーリンを記録し、見事準優勝！

そんな素晴らしい実績を誇る福岡さんから、カジキ釣りの魅力や、これからカジキ釣りを始めたいと考えているオーナーさんへのアドバイスを伺った。

## サムズカップ沖縄で準優勝

広島を中心に、主に薬局・ドラッグストアを展開している株式会社ハーティウオントの代表取締役会長・福岡慎一さん。文化振興にも取り組んでいて、2015年公開予定のオール福山（広島県福山市）ロケの映画『シネマの天使』では、エグゼクティブプロデューサーとして制作に携わっている。

福岡さんは昔からよく沖縄に訪れていたそうで、以前保有していたポナーナム28の進水式を沖縄で行ったほど、沖縄には思い入れが強い。

「インターナショナルビルフィッシュトーナメント・サムズカップ沖縄」への参加のほか、ポナーナム28で沖縄の海を中心に年20〜30回もトロリングに出かけるほど、カジキ

釣りを楽しんでいたという。

そして、2013年4月にポナーナム35へグレードアップ。

「ポナーナム35で臨んだ2013年のサムズカップでは、初めてファーストマーリンを取ったんです。そのときに釣ったカジキがこれなんです」と、当時を思い出して嬉しそうに話す福岡さんが指す先には、思わず驚きの声をあげてしまっほど大きなカジキの剥製が天井から吊られていた（写真P38〜39）。

大人ほどもあるそのカジキは、なんと135キロ！

「これが釣れたおかげで、準優勝できました」と福岡さん。

愛艇ポナーナム35には、そのときのトロフィーが飾られている。



135kgのカジキにご満悦の福岡さん(写真上段、左から2番目)とチームウオントのみなさん。



2013年の「インターナショナルビルフィッシュトーナメント・サムズカップ沖縄」準優勝トロフィー。

愛艇PONAM-35[kanako]号。



「インターナショナルビルフィッシュトーナメント・サムズカップ沖縄」が行われた宜野湾マリナー。



## 安全がカジキ釣りを楽しむ一番のコツ

「友人がカジキ釣りをやっていて、時々剥製を送ってくるんですよ。それがきっかけで4、5年前にカジキ釣りを始めたんです」

実際に、福岡さんの部屋には送られてきたというカジキの尾の剥製も

飾られていた。

福岡さんもカジキ釣りの一番の魅力はチームワークだという。

「カジキ釣りは団体スポーツみたいなものですね。チームのみんながひとつになつてカジキを釣り上げる。これが最大の醍醐味ですよ」。

続いて、沖縄の海ならではの魅力についても尋ねてみた。

「やっぱり海が綺麗ですね。それに、カジキが釣れなかつたとしても、イルカやクジラに出会えることもありますからね。これは沖縄ならではのじゃないかと思います」。

最後にこれからカジキ釣りを始めようと考えているオーナーさんへのアドバイスを聞いてみた。

「カジキ釣りを始めるなら、安全対策を怠らない、無茶なことをしないことですね。たとえば私たちのチームウオントでは、波が1.5メートル以上のときは海に出ないと決めているんです。このようなチームとしてのルール作りは重要だと思います」。

安全が確保されなければどんなことも楽しめないとも話していた福岡さん。その真剣な表情からは、ご自身も含めいかにチーム全員の安全を重視しているかが伝わってくる。

他にも「見た目より安全性を重視した」と話してくれたように、ポ

ナム35に手すりを増設してより安全性を高めているという。

ハード面だけでなく、ソフト面でも安全に気を遣っている福岡さんは、「海快晴」というスマホ・タブレット向けアプリも紹介してくれた。

このアプリを使うと、1時間ごとに天候・風速・波の高さ・潮の状況などを把握することができ、海に出るかどうか、マリナーに引き上げるかどうかなどを判断する際にとっても役に立っているのだとか。もちろん初心者の方にもオススメのアプリだ。

お話を伺っていると、福岡さんがポーナムを選ばれたのも必然だったように思う。安全を重視する福岡さんの考えが、安定性の高いポーナムとマッチしたのも当然だ。

また「カジキ釣りの道具などは釣り仲間に聞くのが一番」というアドバイスもいただいた。

下記では、プロのフィッシャーから非常に高い評価を得ているケン・マツウラリールジャパンのリールも紹介しているので、ぜひ道具選びの参考に見てほしい。

## フィッシャーから絶大な評価を受ける「ケンマツ」リール



リール「80s Custom」。精巧に作られたリールは適度な重量感があり、どんなカジキにも負けない強さが感じられる。

### 通称「ケンマツ」リール

ポーナムカップに記念リールを協賛したり、レーシングドライバールの飯田章氏に特別なリールを提供している松浦賢さん。

1980年代からカジキ釣りを始めた松浦さんは、道具がもっとよくなればなあと思つたらしく、「どうせカジキ釣りをするなら自分で作った道具のほうがいいね」と考え、何度も試作と実践を繰り返した。もともとはモータースポーツの世界で輝かしい実績を誇る松浦さん。リール作りにもそこでのノウハウが生きている。

「私が作ったリールでお客さんがクランク口釣りを始めて、それが築地でいい値段になってね」。

これがきっかけとなって、10年くらい前から本業の漁師の間で流行「どうしても」と制作を依頼されてリールを作っているらしい。

それから今までに約1000個もリールを作ってきて、半分は本格的なフィッシャーが利用していて、「ケンマツリール」や「リール界のフェラーリ」として有名なのだそう。だ。

### ポーナム×ケンマツリール

カジキ釣り大会の中でも大きな規模のひとつが「下田国際カジキ釣り大会」。100艇を超える船が参加し、釣れるカジキの本数も世界一ではないかと松浦さん。 「カジキ釣りの魅力は、簡単には釣れないことと、釣り上げたときのカジキの迫力だね」。

カジキ釣りは一筋縄ではいかない。真剣勝負。だからこそ、安全がしっかり確保できていないと始まらない。そんなときは、「ポーナム×ケンマツリール」の組み合わせが断然オススメ！



穏やかな表情の松浦賢さん。その奥にはものづくりに対する強いこだわりを秘めている。

### 株式会社ケン・マツウラ リール ジャパン

【本社】  
〒799-2425 愛媛県松山市中西外1035-10  
TEL:089-992-0706

【事業部】  
〒791-3133 愛媛県伊予郡松前町昌農内7-1  
TEL:089-989-5334

# 仲間との出会い、 新たな発見

試乗会はその日のクルージングを楽しむだけではない。いつかはロングクルージングを楽しみたいという共通の思いを持った仲間との出会い。ビジネス利用や海外のチャーターサービスなどの新たな発見。「PONAM体感東京湾クルーズ」は、そんな新たな可能性を見せてくれた試乗会だった。



真下からのレインボーブリッジの眺め。クルージングならではの絶景。



スピードを上げるPONAM-35swのフライブリッジで、秋のクルージングを満喫。

2014.10.26

# PONAM体感東京湾クルーズ

at CRYSTAL YACHT CLUB



レインボーブリッジの前で記念撮影をするゲスト。  
満足感に満ちた笑顔が印象的だ。



左／クリスタルヨットクラブのエントランスに  
飾られているPONAM-35の模型。

右／東京湾でPONAM-35swの操船体験。  
風も穏やかで、優雅なクルージングを  
楽しんでいる。





球体展望室が特徴的なテレビ局の社屋。  
海からのアングルは、東京湾クルージングならではの。



恐竜橋とも呼ばれる東京ゲートブリッジ。  
夜にはライトアップされた姿を楽しむこともできる。

## ロングクルージングを 楽しみたい

「知り合いのポーナム28Ⅲに乗せてもらって、ポーナムに興味をもちました。」

「先日、ポーナム31に試乗してきました。」

「オーシャン・スタイルを見て参加しました。今、仲間と共同所有しよう」と計画中なので。」

参加されたゲストのきっかけは実に様々だが、ポーナムに対する関心は非常に高い。栈橋を通ってポーナムに向かう途中のワクワクした表



初めて会ったゲストたちも、クルージングの終盤、  
レインボーブリッジに戻ってくるころには、  
友人のように軽やかな会話が弾んでいた。





ハンドルを握る姿がとてもよく似合う。童心に返ったように操船を楽しむ表情がとても印象的だ。

情が印象的だった。

高い安定性を誇るポーナムのクルージングを楽しんでいたのはもちろんのこと、共通して話題にあがっていたのが「ロングクルージングをしたい」という希望だ。

以前取材させていただいたポーナムのオーナーも「ポーナム35にグレイドアップして、クルージング旅行を楽しみたい」と話していた。

燃費が良く、充実したサポートが整っているポーナムは、まさにロングクルージングに最適なクルーザーだろう。

クリスタルヨットクラブに戻ってきたゲストの満足した表情を見ると、ポーナムの良さが十分に伝わったことがよくわかる。

## 新たな知見が得られた 試乗会

日本のマリン環境への関心も非常に高い。

「やっぱり、気軽にどこでも船を停められるようになるというよね」と期待を込めて言っていた方もいれば、ビジネス利用や海外のチャーターサービスの話聞いて、「そんな使い方もあるなんて知らなかった」と新たな発見に喜んでくれた方もいた。

さまざまなキーワードが飛び交った今回の試乗会は、これまでとは少し違った中身の濃さが目立った試乗会だった。



クリスタルヨットクラブの桟橋に停められたPONAM-35sw。



フライブリッジで東京湾の眺めを楽しむゲスト。



カスタマイズの中でも特に思い入れが強いサンルーフ。4本のポールを立てることで、デッキの端まで伸ばすことが可能。

# PONAMを“自分好み”に カスタマイズの ススメ

## クルーザーを自分好みに

パーツを交換したり、追加したりして、クルマを自分好みにカスタマイズすることを楽しんでいる方は多いのではないだろうか。

クルーザーも例外ではない。クルーザーのオーナーも、まるで第二の我が家のように自分の船に愛着を持っている方が多く、様々なカスタマイズを楽しんでいるはず。

中には、最近クルーザーに乗り始めて、これから自分好みにアレンジしてみたいというオーナーもいるだろう。

そこで今回はクルーザーのカスタマイズの魅力を知ってもらうため、長年多様なカスタマイズをされているオーナーへの取材をもとに、その魅力を紹介しよう。

## カスタマイズに必要な船のベース

「カスタマイズするといっても、それができるベースが必要。その意味では、当時ポーンナム28G II以外には考えられなかった」と話すオーナーは、「釣りもクルージングもできて、フライブリッジに5人も乗れて、階段の上り下りがしやすい。空調の効果も絶妙で、まさにイメージにぴったりの船だったね。これだけバラン

スのいい、よくできた船は他にはないね」と基本性能についても太鼓判を押す。

「コンセプトはオーナーもゲストも快適に過ごせること。夏は暑くなく、冬は寒くない。特に女性は日焼けをしたくないと思ってるから、日差しをどう遮るかというのがひとつのポイントだったね」。

様々なアイテムの中でも、特にオーナーの思い入れが強いのが青いサンルーフ。4本のポールを立てれば、デッキの端まで伸ばすことが可能だ。もちろん、手間が増えてしまっただけではない。オーナーのすごいところは、細かな部分まで考え抜かれていること。このサンルーフもワイヤーとゴムを利用することで、設置を容易にしながら、20ノットでもびくともしない安定性を実現している。

## カスタマイズもアイデア次第

「収納もアイデア次第で自分好みにできる。ホースを収納するのに使っているのは、実はお盆を保管するための器具。お店で見たとときにピンときて、実際に取り付けてみたら、サイズもぴったりだし、輪に束ねておけば汚れにくくもなる」。

また、一人でも釣りを楽しみたい



サンルーフをデッキの端まで伸ばす際に使うポール。普段は邪魔にならないよう、キャビンの天井のロッドホルダーに収納している。



オーナーのアイデアあふれる収納。お盆を保管するための器具を利用したホース収納(写真左)と、階段裏のデッドスペースを利用したロープ収納袋(写真右)。

PONAM-28G IIの船首にあるアンカー。船体とアンカーの付け根を繋ぐ部分を工夫し、引き上げたときに羽が斜め下を向くようになっている。このため、ロープ等が引っ掛かった場合でも外れやすくなっている。



オートパイロットのコントローラー。コードを延長することで使用性を向上させている。



多彩なカスタマイズが施されたPONAM-28G II [Mrs. Robinson - IV]。

## 試行錯誤も楽しむそれがカスタマイズの極意

ときに便利なのがオートパイロットのコントローラー。デッキまでコードを伸ばすことで、簡単な操作ならわざわざフライブリッジに上がらなくても可能になる。こんなアイデアが生まれるのも、これまでアレンジを楽しんできたオーナーならではの。階段裏のデッドスペースも、ロープを収納するためのバッグを取り付けて有効活用している。

アンカーにもこだわりがある。通常、アンカーの羽は引き上げたときに上を向いたり、水平になったりすることが多い。しかし、これではもしロープなどが引っ掛かった場合に

外すのが面倒だ。

そこで注目したのが、船体とアンカーの付け根を繋ぐ部分だ。引き上げたときにアンカーが、斜め下を向くように手を加えたため、もしロープなどが引っ掛かってしまっても、自然と外れやすくなるという仕組みだ。

感心するところは、ここで満足しないこと。

「普段行く海はヘッドロが多くてね。引き上げたときにすぐ洗えるようにとホースを長くしたら、今度は水圧が足りない。ここをどうしようかと今考えているんですよ」と楽し気に話す。

「カスタマイズの醍醐味は、どうすれば自分好みにできるか、それを考えることを楽しむこと。オーナーによって海の楽しみ方は様々だから、着眼点も工夫の仕方もそれぞれ。でも、ポーターにはそれを実現できるだけの素地がある。これが嬉しい。もしこだわりたいと思ったら、間違いない。ポーターをオススメするね」。

カスタマイズはいわば自分好みの味付けに仕上げるためのスパイスみたいなもの。自分だけのマリナイフを楽しむために、ぜひカスタマイズに挑戦してみてほしい。



澤村 里麻 さん  
Rima Sawamura

オーシャン・スタイル第2号、第3号で取材させていただいた、澤村さんと内藤さんのお二人と芦屋マリーナにて再会。お二人を紹介しながら、話題は徐々に「ポーナム女性の会」に。

——「ポーナム女性の会」を立ち上げたいんですよ。ポートって男性だけのものじゃないから。どうやって女性の会が活性化するでしょう？

**澤村** 思ったより揺れないということを伝えるのが一番！ それと私からジェットからお誘いします。まずは海に慣れることが何といっても必要ですから。

**内藤** 揺れが少なくなればなるほど女性とポートの距離が縮まるでしょ

うね。

お二人の共通意見としては、とにかく揺れが少ないことが女性への一番のアピールになるようだ。その点ポーナムはバッチリニーズを満たしてくれると、のっけからピンときた。

——こないこともありますよ！と自信を持って言えることは？

**澤村** 少しですけど、リッチな気分になれるところですかね。ホテルの棧橋で何人かからチラ見されたり（笑）。

そうそう、海風にあたっていると意外と風邪をひかなくなっていて健康にもいいんですよ。

**内藤** 遠く水平線を見ることができ

# 誕生、 女性の、女性による、女性のためのクルーザー スペシャル対談！ PONAM Women's Club

取材・文 本誌編集長 増淵達也



内藤 教恵 さん  
Norie Naito

るのがいいんですよ。日常から離れてみると、日常への感謝も湧いてくるものですか。

なるほど女性ならではの意見だとふむふむと頷いてしまった。

——ところで澤村さんはポーナム31に試乗されたとか？

**澤村** そうなんです。ポーナム31はとにかくお化粧室が広くて「女性の目線も意識したな」というのがよくわかります。

現代は女性の時代とよく言われるが、ポートの世界にも女性独自の遊び方が出てくるといいと思うし、またそうなってくれば裾野が大きく

広がるはずだ。今は、小さい動きだけれど、少しずつ大きなムーブメントにしていきたくて強く感じた。

——では、最初のオフ会はどんなイメージがいいでしょうかね？

**澤村** 淡路島までクルーズして、みんなですらす井とか！

**内藤** 三河湾や伊勢湾をクルーズして、ラグナマリーナに戻ってランチ！

どっつら話は尽きそうもない。一度ぜひやってみてくださいね！

ということで、女性の会でクルーズランチを企画中！

ご興味ある方はぜひ左記Webサイトまで詳細のお問い合わせを！

「揺れが少なくなるほど、女性とボートの距離が縮まるでしょうね」(内藤)  
「リッチな気分になれて、意外と健康にもいいんですよ」(澤村)



## CRUISER CONCIERGE

クルーザーコンシェルジュ

Q Search



【取材協力】

芦屋マリーナ ASHIYA MARINA

〒659-0035 兵庫県芦屋市海洋町11-1

TEL:0797-35-6662

Webサイト:ashiya.marinajapan.jp

# 日本初、 トヨタが保証する認定中古艇

トヨタマリン営業所直販のPONAMシリーズを対象とした  
トヨタ独自の厳しい品質基準をクリアした中古艇

トヨタ認定中古艇3つの安心





## 日本初! 保証付き中古艇

オーナーが安心してマリンスライ  
フを楽しめるようにしたい、中古艇  
に対する不安を少しでも無くしたい  
という思いから、トヨタマリンが考  
えた安心の形が「トヨタ認定中古艇」  
だ。

クルーザーの下取りや、中古艇の  
販売を行っているメーカーなどは他  
にもあるだろう。

しかし、トヨタマリンのそれは一  
味違う。

検査、整備はもちろんのこと、日  
本初となるボートメーカーによる品  
質保証を付けているのが最大の特徴  
だ。

言うまでもなく、検査、整備も高  
い技術を持った熟練スタッフの厳し  
い目で徹底的にチェックを行う。

その数およそ100項目!

エンジンや燃料タンクなどの「機  
関系」、バッテリーや各種計器、照  
明などの「電気系」、トイレや清水  
タンク、いけすなどの「給排水系」、  
エアコン、オーディオ、GPSなど  
の「機装品」、その他船体のキズや  
塗装のがれ、取り付け部の緩みな  
ど、隅々まで検査、整備する。

# TOYOTA MARINE CUB

Certified Used Boat

## 約100項目を、隅々まで厳しくチェック!

### マリンスライフを始める方も ステップアップしたい方も

各項目は「A評価(問題なし)」「B  
評価(修理、調整が必要)」「C評価  
(部品交換が必要)」の3段階で評価  
を行う。

検査でB評価またはC評価が付  
けられた箇所は、A評価の状態にな  
るまでしっかりと整備が行われる。

つまり、販売される段階にはオー  
ルA評価のクルーザーになっている  
わけだ。

「中古艇だからこそしっかりと整備  
する」というトヨタマリンの姿勢は、  
シンプルながら実際に行つとなると  
なかなかできない。

まずは中古艇からマリンスライ  
フを楽しもうと考えている方にとつ  
てはこれ以上のサービスは他にはな  
い。

もちろん、今ポーターに乗られ  
ているオーナーにとっても魅力的な  
サービスだ。

これまでマリンスライフを共に楽  
しんできた愛艇。できることなら  
しっかりと整備をして、次の方に愛  
着を持って乗ってもらいたいと思っ  
るのは自然なことだろう。

ぜひ「トヨタ認定中古艇」で、新  
たなマリンスライフを!

トヨタ認定中古艇をご検討のお客様は、  
お気軽にトヨタマリン営業所に  
お問い合わせください。  
ご不明な点などをスタッフが丁寧に答え致します。

トヨタマリン営業所

0120-532-451

受付時間 9:45~17:30(定休日:水・木曜日)



# 釣り好きのための 最高のロケーション あらゆるフィッシングエリアまで2時間以内！



太田 豊樹 氏  
和歌山マリーナ 店長

## 9割が釣り好きのオーナー

以前は40隻ほどだった船が、今ではおよそ3倍の126隻に。

「ここは環境が素晴らしいんですけど、なかなかその良さを知ってもらう機会がなかったんです。そこでレンタルボートの提供や試乗会の開催を積極的に行うようにしたんで



和歌山マリーナのバースには、釣り好きのオーナーの船が90%を占める。

す」と太田さん。

この取り組みが評価され、オーナーの数も右肩上がりに。

「うちは90%が釣り好きのオーナーさんですね。朝5時に携帯電話が鳴って、船を降ろしてほしいと頼まれることもあるくらいですから」。

和歌山マリーナの魅力は、さまざまなフィッシングエリアへのアクセスの良さ。15分もクルージングすればすぐに釣りポイント。カツオやカジキがいる海域にも1時間半から2時間。釣り好きにはたまらない環境だ。

## 高い人気を誇るポーナム

「ポーナムは人気が高いですよ。10人お客さんが来れば、そのうち3、4人からは『ポーナムは？』と聞かれます。28フィートクラスでもフロイブリッジやエアコンが付いている



# 和歌山マリーナ

## Wakayama Marina

〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見153  
(和歌山マリーナシティ内)  
TEL: 073-441-8888  
Webサイト: www.wakayama-marina.com



和歌山マリーナのクラブハウス。

船は他にはないですからね。」

加えて、トヨタへの強い信頼感も。

特にアルミハルの安定した航走は評価が高く、下関まで1日で回航したときも、全く問題がなかったとか。

### フィッシングにも

### 家族で過ごす余暇にも

「ご家族で余暇を過ごすにも最適なロケーションですね。ホテルやレストランはもとより、テーマパーク、BBQスポット、温泉と、近くにはお年寄りから子供まで楽しんでいただける施設が充実しています。」

和歌山マリーナは免許の取得から販売、艇置までワンストップでサービスを提供。フィッシングを楽しみたい、家族で余暇を過ごしたいオーナーだけでなく、新たにマリライフを始めた方にもイチオシのマリーナだ。

【発行人】  
トヨタ自動車株式会社

【編集長】  
増淵 達也

【編集】  
宇賀持 一弘

【フォトグラファー】  
中村 俊哉 (P.3, 18-21, 25, 31-37)  
矢部 洋一 (表紙, P.3-8, 22-24, 28-30, 33, 50, 54)

【アートディレクション】  
増淵 達也

【エディトリアルデザイン】  
宇賀持 一弘

【制作協力】  
株式会社ネクスト・ワン  
宮崎 秀敏 (P.52-53)

株式会社カマクラワークス  
刀根 幸二 (P.52-53)

【写真提供】  
海のほてる いさば (P.18-21)

さかなや 魚清 (P.18-21)

芦屋マリーナ (P.48-49)

【取材協力先】  
レーシングドライバー 飯田 章 (P.18-21)

トヨタ自動車東日本株式会社  
取締役社長 白根 武史 (P.34-37)

株式会社ハーティウオンツ  
代表取締役会長 福岡 慎二 (P.38-41)

株式会社ケン・マツウラ リール ジャパン  
代表取締役社長 松浦 賢 (P.41)

澤村 里麻 (P.48-49)  
内藤 教恵 (P.48-49)

和歌山マリーナ (P.52-53)  
店長 太田 豊樹  
〒 641-0014 和歌山県和歌山市毛見 153  
(和歌山マリーナシティ内)  
TEL : 073-441-8888  
www.wakayama-marina.com

海のほてる いさば (P.18-21)  
〒 410-3402  
静岡県沼津市戸田美浜海岸 3878-20  
TEL : 0558-94-3048  
http://www.isaba.co.jp

さかなや 魚清 (P.18-21)  
〒 410-3402 静岡県沼津市戸田 580  
TEL : 0558-94-2114  
http://www.sakanayauosei.com

芦屋マリーナ (P.48-49)  
〒 659-0035 兵庫県芦屋市海洋町 11-1  
TEL : 0797-35-6662  
http://ashiya.marinajapan.jp/

# Editor's VOICE

表紙をご覧いただいたお分りの通り、オーシャン・スタイル第4号では、2014年10月10日に発表されたポーターナム31を大々的に取り上げています。

私も実際にポーターナム31に試乗させていただいたのですが、スピード感あふれるクルージングに大興奮でした。これまでも高い評価を得ていた乗り心地もますます良くなっています。

2015年5月17日には、ポーターナム31の試乗会も予定していますので、まだ試乗されていない方には、ぜひともご参加いただき、ご自身でその質の高さを体感していただきたいと思います(31ページ参照)。もちろん、マリンライフの楽しさを感じて頂ける記事も多数掲載しています。

レーシングドライバーの飯田章氏にナビゲートしていただいた西伊豆のファミリークルーズトラベル、塩釜ビルフィッシュトーナメントのレポートやオーナーが語るカジキ釣りの魅力、ポーターナムのカスタマイズ、女性オーナー対談による女性ならではの視点 など。

マリンライフの楽しみ方はそれぞれ異なりますが、どれも魅力的なものばかりです。オーシャン・スタイルがきっかけで、ご自身に合ったマリンライフの楽しみを見つけただければ幸いです。

編集長 増淵達也  
2015年2月





## 海を“Fun To Drive”

PONAM-31で、アクティブに駆け抜ける。

PONAM-31で、ラグジュアリーにくつろぐ。

そこには、あなたの知らない新しい海の遊びがきっとある。



※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含みます。

2015年3月5日(木)~8日(日)

第1会場:パシフィコ横浜/第2会場:横浜ベイサイドマリーナ

**JAPAN BOATSHOW 2015**  
INTERNATIONAL

トヨタブースでお待ちしております。

# 31

*Sport Utility Cruiser*

**PONAM-31**

*Debut!*

試乗会の開催日などのご案内は、トヨタマリンホームページまたは、フリーダイヤルにてお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 新事業統括部 トヨタマリン営業所 〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地  0120-532-451 [www.toyota.co.jp/marine/](http://www.toyota.co.jp/marine/)